

令和元年度「要望書」を 文部科学大臣・厚生労働大臣・総務大臣へ提出

本年度も副会長会 2 日目の 8 月 2 日（金）に霞が関の三省を訪問し、各大臣あてに全国連合退職校長会の「要望書」を手渡し、それぞれの要望事項について口頭説明を行った。

柴山昌彦文部科学大臣への要望書

全国連合退職校長会は、「教育尊重の気運を高め、教育の振興に寄与するとともに、会員の福利厚生を拡充に努める」ことを目的として活動している。今、学校教育は、働き方改革の推進、新学習指導要領全面実施への対応等の真只中にあり、全ての子供にきめ細かい行き届いた指導と教育の質の向上を目指すために教職員の定数改善が喫緊の課題である。全国約八万八千名会員の総意として、下記事項を要望する。

I 教育の振興に関する要望

- 一 義務教育標準法の改正に伴う第八次教職員定数改善計画の策定、義務教育費国庫負担率二分の一への復元、並びに新学習指導要領の円滑な実施に向けた下記事項の実現に尽力されたい。
 - (1) 全ての小学校の「英語科」指導、理科・音楽・体育・図画工作・家庭等の専科指導、プログラミング教育に専門的な指導力のある教員の配置
 - (2) 「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善を積極的に推進するための教員研修の充実
 - (3) コンピュータや情報通信ネットワーク、デジタル教科書等を活用するために必要な I C T 環境の整備促進
 - (4) 特別支援教育、英語科の指導、I C T 教育等の実践的指導力を重視した教員養成の充実
- 二 「学校における働き方改革」の進捗状況の把握とともに、スクールカウンセラーや部活動指導員、スクールサポートスタッフ等の多様な人材配置により「チーム学校」を充実し、教員の長時間勤務の解消、勤務環境の適正化に尽力されたい。
- 三 教育界に優秀な人材を得るため、人材確保法の堅持とともに教員の養成・任用・研修の改善と、免許制度の改正、教職員・校長等管理職の処遇改善に尽力されたい。
- 四 未だ復興途上にある東日本大震災・原発事故や熊本地震、さらに西日本豪雨をはじめ全国各地で自然災害が続発している。被災された地域の復興や教育環境正常化のため、迅速かつ積極的な支援に尽力されたい。
- 五 国民こぞって教育の在り方を考える日として、本会が推進してきた「教育の日」が既に全国三十六都道府県、百九十一市区町村に制定された現状に鑑み、国民の祝日として「教育の日」を制定されたい。

II 退職校長・園長の叙勲並びに人材登用等に関する要望

- 一 春秋叙勲について、叙勲者数の増加と義務教育関係者の叙勲の格上げに配慮されたい。
- 二 年金給付年齢の繰り上げに伴い、退職校長・園長の再任用・再雇用に係る条例及び制度を全国的に整備・拡充する施策を講じられたい。
- 三 文部科学省が設置する審議会、有識者会議や研究協力者会議等に、全国的な組織を代表する退職校

長・園長を適時に登用されたい。

- 四 長寿社会における生涯学習の充実を図るとともに、退職校長・園長がこれまでの経験や専門的知識・技能を活かして教員等の研究・研修など学校教育の支援に努められる施策を講じられたい。

根本 匠厚生労働大臣への要望書

全国連合退職校長会は、「教育尊重の気運を高め、教育の振興に寄与するとともに、会員の福利厚生 of 拡充に努める」ことを目的に活動している。各都道府県校長会約八万八千名会員の総意として、下記事項を要望する。

- 一 高齢者が東京五輪後のレガシーを踏まえて、就労やボランティア活動などに意欲をもって参加できる施策を充実されたい。
- 二 高齢者の生活の安定を図るため、デフレ経済下での「マクロ経済スライド」の実施は行わないことを要望する。
- 三 高齢者医療制度の見直しに当たり、健康保険料・介護保険料等の負担が過重にならないよう、高齢者の生活安定に配慮されたい。
- 四 長寿社会で働く高齢者の年金については、とくに六十歳代前半の在職老齢年金の支給停止基準を緩和するよう配慮されたい。

石田真敏総務大臣への要望書

全国連合退職校長会は、「教育尊重の気運を高め、教育の振興に寄与するとともに、会員の福利厚生 of 拡充に努める」ことを目的に活動している。各都道府県校長会約八万八千名会員の総意として、下記事項を要望する。

- 一 共済年金と厚生年金の一元化に伴い、職域加算を保障する「年金払い退職給付」が実施された。今後も退職教職員の生活安定の施策を強く要望する。
- 二 長寿社会で働く高齢者の年金については、勤労意欲を損なわないよう在職老齢年金の支給停止基準を緩和するよう配慮されたい。
- 三 高齢者の生活安定を堅持するため、年金受給者への課税増等による税負担が過重にならないよう配慮されたい。

文部科学大臣への「要望書」提出に臨席した会長・副会長(敬称略)

会長 入子祐三

副会長(北海道) 黒坂由紀子 副会長(東北) 奈良年永

副会長(関東甲信越) 新沼隆三 副会長(東海北陸) 川合俊平

副会長(近畿) 上野清次 副会長(中国) 國友道一

副会長(四国) 藤田繁治 副会長(九州) 山田 稔

※詳細は9月30日発行の次号会報(213号)に掲載予定です。